



研究所だより



新緑が色を増し初夏を感じさせられる季節となりました。皆様方におかれましてはご多忙な毎日をお過ごしのことと存じます。

中土佐町教育研究所は平成24年度の設置以来13年目がスタートしました。昨年度から中土佐町こどもセンターに移転設置となり、適応指導教室や青少年育成センター職員と一室になり、児童生徒の基礎学力の定着に関する研究とともに児童生徒支援の取組にも取り組んでいます。今後も学校をはじめ、教育関係機関、保護者、地域住民の皆様と連携し、諸課題の解決に向けて共に取り組む研究機関としての役割を果たしていきたいと考えています。

本年度も中土佐町教育研究所の運営に関してご理解とご協力をよろしくお願い致します。

中土佐町教育研究所 所長 古谷 智史

目指す研究所像と本年度の取組

(1) めざす教育研究所像

- 基礎基本の定着を図るために中土佐検定に取り組む教育研究所
- 教育課題を共有し学校の課題解決に共に取り組む教育研究所
- 学校・保護者・地域に開かれた教育研究所

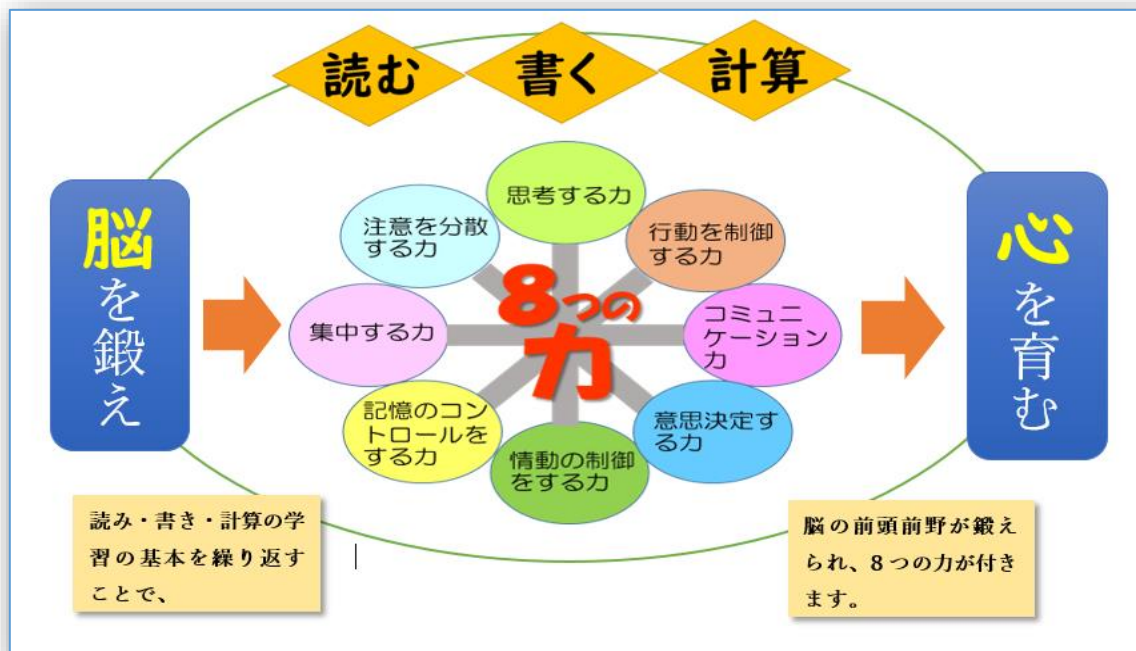
(2) 本年度の取組の重点

- ① 基礎学力定着に関する調査研究「小・中学校中土佐検定の取組」
 - ・ 小学校算数検定、中学校数学・英語検定実施（年間3回）
 - ・ 中学校漢字検定実施（年間2回）
 - ・ 検定結果分析（間違いランキング作成と活用）
 - ・ 検定取組支援（加力指導・個別指導）
 - ・ 各種学力調査結果と中土佐検定との関連分析
 - ・ 数学・英語・漢字・算数・ことばのきまり、各テキストの修正
- ② 児童生徒の支援に関する調査研究
 - ・ 不登校・不登校傾向の児童生徒への支援に関する調査・研究
 - ・ ICT等を活用した不登校支援に関する調査・研究
 - ・ 学校、適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、青少年育成センター指導員、こどもセンター、他各関係機関との連携
- ③ 情報の収集・発信
 - ・ 研究所だよりの発行と中土佐町広報での情報発信
 - ・ 研究所間の交流、連絡協議会への参加
 - ・ 研究授業への参加や学校訪問

～ 中土佐検定 ～

中土佐町では、子どもたちが基礎学力を身に付けるために、脳科学の考え方に基づいた「中土佐検定」の取組を町内全小中学校で実施しています。町独自の検定テキストを活用して繰り返し学習することで脳の前頭前野が鍛えられ、基礎的な学力が身につくだけでなく、心も育ち、子どもたちの夢や希望の実現につながります。

「中土佐検定」は検定に合格することも大切ですが、それ以上に、テキストを活用して少しの時間でも毎日計算練習をしたり書いて覚えたりする学習を重視しています。繰り返しの取組が効果的であり脳の活性化につながると考えています。中土佐検定は、学習の基礎基本となる、読み・書き・計算の力をしっかり身につける方法の一つとして、学校全体で組織的に取り組み、家庭での学習としても活用し、子どもたちの夢や希望を実現させる手段の一つとして定着しています。



中土佐検定の概要

1 検定の実施予定日

	第1回	第2回	第3回
小学校（算数）	6月11日（水）	11月5日（水）	2月4日（水）
中学校（数・英）	6月19日（木）	11月13日（木）	2月5日（木）
中学校（漢字）	9月4日（木）	1月15日（木）	

※学校の実情に応じて実施日を一週間内で変更することができます。

2 受検級

該当学年の級を受検する。

3 検定の内容

テキストの内容から出題する。

4 検定の実施時間

各教科25分とする。

5 検定当日の欠席児童生徒

検定実施日より、3日後までは本試験を受検できる。



- 6 合格ラインと認定証、満点証の授与
100点満点で80点以上を合格とする。合格者には教育委員会が「認定証」を、本試験で満点の者には「満点証」授与する。また、合格しなかった者のうち（各学校長の判断により）努力が認められた生徒には「がんばり賞」を授与する。
- 7 再試験・再々試験の実施
本試験で80点未満の児童生徒については、本試験実施日から3週間をめどに再試験、再々試験を実施する。
- 8 受検に関して配慮が必要な児童生徒の取り扱いについて
学校で判断し、検定2週間前までに教育研究所に連絡する。
- 9 採点
検定の採点は、教育研究所が行う。
- 10 採点結果の公表
採点結果は、町全体のデータ（学年別平均点・受検者数・合格率等）として町広報誌等で公表する。学校別の結果は公表しない。
- 11 間違いの多い問題と誤答事例
学校が採点結果やデータを活用できるようにするため、検定終了後間違いの多かった問題と誤答事例などをまとめ、「間違いランキング」として各学校に配付する。授業改善、補充指導等を行い、基礎学力の定着に活かす。

研究所関係年間予定

本年度の研究所関係の会合は下記を予定しています。運営委員会は、研究所の健全な運営のための諮問機関です。また検定担当者会では、各学校での組織的な取組を行う中で成果や課題等について話し合いを行います。

月 日	内 容	備 考
5月20日	中土佐検定英語科担当者会	
6月 2日	第1回中土佐町教育研究所運営委員会	
6月 6日	高知県教育研究所春季連絡協議会	
6月23日	第1回高知県教育研究所中西部地区連絡協議会	仁淀川町
7月25日	第1回中土佐検定英語科担当者会、数学科担当者会	
8月 1日	第1回中土佐検定担当者会	小中合同開催
11月21日	高知県教育研究所秋季連絡協議会	宿毛市
2月	第2回小中学校中土佐検定担当者会	
2月	第2回高知県教育研究所中西部地区連絡協議会	仁淀川町
3月	第2回教育研究所運営委員会	

輝く子どもたち

毎年、研究所として町内各学校の校内研修会・公開授業等において授業参観をさせていただいています。感謝を申し上げます。

本年度も各学校での子どもたちの頑張っている姿を参観させていただき、「研究所だより」で紹介していきたいと思えます。お手数をおかけしますが、公開授業、研究授業等を行う場合は研究所まで連絡をお願いいたします。

児童生徒支援の取組

教育研究所は、中土佐検定に関わる業務に加えて、学校や適応指導教室支援員・サポートメンバーと連携し、下記のような取組に関連した支援に関する調査研究を行います。

学校生活の
不安
学習サポート

- ・適応指導教室と連携した学習サポート
- ・ICT 機器を活用した支援
- ・不登校等の実態把握・要因調査
- ・不登校早期発見・未然防止
- ・意識調査等の結果分析・活用 など



学校に行きづらい子どもたちの受け入れ場所のひとつとして、「中土佐町こどもセンター」の中に適応指導教室「あいあいルーム」があります。不登校や不登校傾向の児童・生徒が、学習を進めたり集団生活を学べる場所として設置されています。中土佐町では3人の支援員が、学校適応や学習活動等の支援や相談業務を行います。そのほかに、SSW（スクールソーシャルワーカー）1名、育成センター指導員1名、SC（スクールカウンセラー）1名がサポートメンバーとして関わっています。SSWは、問題を抱えている児童・生徒が置かれている環境に働きかけることで、問題の解決に向けて支援をおこないます。育成センター指導員は、少年補導、環境浄化、相談活動などを通じて、児童・生徒の問題行動の早期発見や問題解決、非行防止に努めています。SC（スクールカウンセラー）は児童・生徒が抱えるさまざまな問題について解決に向けた助言や指導などをおこないます。

教育研究所も「あいあいルーム」のメンバーと同室で業務をしており、適応指導教室の業務を支援しています。また、研究所として、不登校児童生徒への支援の在り方やICTを使った生活や学習のサポートなどを研究テーマとしています。今後、問題を抱えている児童生徒に寄り添う支援ができていくようにさらに研究と連携を深めていきたいと考えています。

中土佐町教育研究所 所長 古谷智史

**本年度、研究所&あいあいルームスタッフです。
よろしくお願いいたします。**

あいあいルーム

支援員 楠瀬 富美(前左)
支援員 岡村 勲(前中央)
支援員 岡林 夢子(前右)
SSW 河上 沙耶香(後左)
育成センター指導員
堅田 謙洋(後右)
SC 土居 知成(丸囲み)



教育研究所

所 長(右) 古谷 智史
研究教諭(左) 渡部 翔平
支 援 員(中央) 西内 いち



研究所便り 令和7年度 第1号

発行 中土佐町教育研究所

〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼 6551-1

TEL 0889-52-2250 FAX 0889-52-2643

発行日 令和7年5月15日